

令和7年度 事業報告

令和7年度は、「地域共生社会」の実現に向けた行動計画としての性格を有する第7次地域福祉活動計画が2年目を迎え、重点事業に位置付けた「地域の支え合いの仕組みづくり」、「孤立を防ぐ仕組みづくり」、「権利擁護の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

「地域の支え合いの仕組みづくり」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を継続しながら、地域福祉コーディネーターとして個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして市行政や地域包括支援センター、市民の方々と連携を図り、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「孤立を防ぐ仕組みづくり」については、福祉まるごと相談を通じ、一人一人の困りごとに寄り添う支援と、その人を支える“地域をつくる”支援の一体的な推進に取り組みました。また、厚木市より受託している重層的支援体制整備事業の参加支援事業・地域づくり事業について、コミュニティデザイン推進員を中心に調整を行い、市内福祉施設や企業等との協力により、社会とのつながりが必要な対象者について他者との交流の場や機会を設けることができました。

「権利擁護の推進」については、厚木市権利擁護支援センター事業として地域に出向いて相談会を実施するなど相談体制の充実に努め、制度の利用が必要な人に支援がつながるよう、成年後見制度の広報啓発や、関係機関及び専門職との連携を図り、本人を中心としたチーム支援に取り組みました。さらに、本人に寄り添い、地域に密着した活動を行うことが期待されている市民後見人の養成研修を実施し、新たに6人が登録されました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら、効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、賛助会員への加入促進のため、フェイスブックによる情報の発信や機会を捉えてのパンフレット配布など、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1)法人運営事業

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理 事 会

1	開 催 日	令和 7 年 5 月 3 0 日（金）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出 席 者	理事 1 0 人、監事 2 人
	審議事項等	(1)議案第 1 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 表彰規程の一部を改正する規程について (2)議案第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (3)議案第 3 号 令和 6 年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (4)議案第 4 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任候補者の推薦について (5)議案第 5 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事及び監事の候補者について (6)議案第 6 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について (7)議案第 7 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (8)報告事項 1 職務執行状況報告について (9)報告事項 2 一般会員の退会について
2	開 催 日	令和 7 年 6 月 2 0 日（金）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出 席 者	理事 8 人、監事 1 人
	審議事項	(1)議案第 8 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 会長の選定について (2)議案第 9 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 副会長の選定について (3)議案第 10 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 常務理事の選定について
3	開 催 日	令和 8 年 1 月 3 0 日（金）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出 席 者	理事 9 人、監事 2 人
	審議事項等	(1)報告第 1 号 専決処分の報告について (令和 7 年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第 1 号)について)
		(2)報告第 2 号 専決処分の報告について (令和 7 年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第 2 号)について)
		(3)議案第 11 号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について
		(4)議案第 12 号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄につい て (5)議案第 13 号 令和 8 年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 実施事業の一部事前承認について (6)報告事項 1 職務執行状況報告について

4	開催日	令和8年3月13日（金）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事7人、監事2人
	審議事項	(1)議案第14号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経理規程の一部を改正する規程について (2)議案第15号 役員等賠償責任保険について (3)議案第16号 令和8年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (4)議案第17号 令和8年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について (5)議案第18号 理事の候補者について (6)議案第19号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について
5	決議があったと みなされた日	令和8年3月30日（月）
	決議方法	定款第30条第2項の規程に基づく決議
	同意書提出者	理事10人
	審議事項	(1)議案第20号 常務理事の選定について

(イ) 評 議 員 会

1	開催日	令和7年6月20日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員16人、監事1人
	審議事項	(1)議案第1号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2)議案第2号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (3)議案第3号 理事の選任について (4)議案第4号 理事の選任について (5)議案第5号 理事の選任について (6)議案第6号 理事の選任について (7)議案第7号 理事の選任について (8)議案第8号 理事の選任について (9)議案第9号 理事の選任について (10)議案第10号 理事の選任について (11)議案第11号 理事の選任について (12)議案第12号 理事の選任について (13)議案第13号 監事の選任について (14)議案第14号 監事の選任について

2	開催日	令和8年3月24日（火）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員17人
	審議事項等	(1)報告第1号 専決処分の報告について (令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第1号)について) (2)報告第2号 専決処分の報告について (令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第2号)について) (3)議案第15号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (4)議案第16号 令和8年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (5)議案第17号 令和8年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について (6)議案第18号 理事の選任について (7)議案第19号 理事の選任について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

開催日	令和7年6月10日（火）
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	委員3人
審議事項	(1)議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任について

(エ) 監査

開催日	令和7年5月20日(火)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
審議事項	(1) 理事の職務執行の状況について (2) 法人の財産の状況について

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日	令和7年10月30日（木）
場所	大和市保健福祉センター
内容	講義：テーマ「今、市町村社会福祉協議会に求められること」
講師	神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部 社会福祉学科 教授 中村美安子 氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額 15,602,798円

(ア) 一般会員会費 585,000円

第1種会員から第7種会員の合計117団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 15,017,798円

a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	701,200	420,780	1,121,980	5,843	87	5,930
厚木南	928,900	215,000	1,143,900	2,702	27	2,729
依知北	792,500	142,000	934,500	2,749	33	2,782
依知南	688,600	122,615	811,215	2,176	28	2,204
睦合北	523,050	81,000	604,050	1,871	17	1,888
睦合南	748,630	145,000	893,630	4,281	34	4,315
睦合西	201,600	67,000	268,600	2,971	14	2,985
荻野	1,293,915	221,000	1,514,915	5,640	25	5,665
小鮎	1,134,450	103,000	1,237,450	3,275	27	3,302
南毛利	2,454,140	151,000	2,605,140	9,183	40	9,223
南毛利南	894,500	92,000	986,500	2,261	23	2,284
玉川	428,000	95,000	523,000	857	18	875
森の里	562,608	3,000	565,608	1,863	1	1,864
相川	1,075,700	235,780	1,311,480	2,920	58	2,978
緑ヶ丘	481,830	14,000	495,830	1,855	5	1,860
合計	12,909,623	2,108,175	15,017,798	50,447	437	50,884

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果：財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書
(本書115ページ)のとおり

オ 職員研修・人材育成

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を受講したほか、内部研修や全職員を対象としたスーパービジョンの実施により、職員の資質向上及び共通理解を図りました。

さらに、社会福祉士国家試験受験に必要なソーシャルワーク実習を受入れ、職員の資質向上を図るとともに次世代の社会福祉専門職の養成に取り組みました。

(ア) 外部研修

基幹	社会福祉に関わる者として共通基盤となる価値・知識・専門性を身につける
	チームリーダーキャリアパス対応生涯研修 / 中堅職員キャリアパス対応生涯研修 / 初任者キャリアパス対応生涯研修
階層別	組織性を高める・階級に応じて必要な知識を高める
	スーパーバイザー研修 / 新任職員研修 / 社会福祉士実習指導者研修
担当 職務別	職務に関する専門性を高める
	生活支援コーディネーター研修 / 重層の支援体制構築支援事業市町村地域福祉管理職等向け研修会 / かながわライフサポート事業相談支援フォローアップ研修 / 生活福祉資金新任担当者・相談員研修 / 教育支援資金関連業務研修会 / 持続可能な権利擁護支援モデル事業研修 / 法人後見事業担当者現任研修 / 日常生活自立支援事業管理監督者研修 / 日常生活自立支援事業現任者研修 / 認知症サポーター養成研修 / 認知症多職種研修 / 障がい児者支援実務者研修 / 支援者向け研修会ひきこもり UX ゼミナール

(イ) 内部研修

令和 7 年

6 月～8 月 市内探索ワーク「続：社会資源の再発見～まちあるき編～」

10 月 グループ発表 「続：社会資源の再発見～発表編～」

令和 8 年

1 月～2 月 社会的孤立から地域社会を守るゲーム
「コミュニティコーピング」

(ウ) ソーシャルワーク実習の受入

1	日 程	令和 7 年 7 月 17 日～8 月 29 日のうち 24 日間
	人 数	1 人（武蔵野大学人間科学部社会学科 3 年生）
2	日 程	令和 7 年 9 月 1 日～10 月 6 日のうち 24 日間
	人 数	1 人（大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科 3 年生）
3	日 程	令和 7 年 10 月 20 日～10 月 30 日のうち 9 日間
	人 数	1 人（大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科 3 年生）

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会に参加し、県央地区の他市社協と情報交換、調査研究を行いました。

(ア) 幹事会

開催日 令和7年5月22日付 ※書面開催
内 容 令和7年度県央都市社会福祉協議会連絡協議会総会資料について

(イ) 総 会

開催日 令和7年7月15日（火）
場 所 大和市保健福祉センター
内 容 ・令和6年度事業報告及び決算について
・令和6年度監事監査報告
・令和7年度役員選任について
・令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について
・神奈川県社会福祉協議会より情報提供

(ウ) 会長会・幹事会合同会議

開催日 令和8年3月27日（金）付 ※書面開催
内 容 ・令和7年度事業報告について
・令和8年度事業の方向性（案）について
・県央都市社協連絡協議会役員の輪番について
・市町村社協部会（県社協主管）役員選出について

(エ) 課題別職員情報交換会

開催日 令和8年2月17日（火）
場 所 大和市保健福祉センター・イオンモール大和
内 容 情報交換会テーマ「財源確保等について」
大和市社協×イオンモール大和 フードドライブ見学

(オ) 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和7年10月30日（木）
場 所 大和市保健福祉センター
内 容 講義：テーマ「今、市町村社会福祉協議会に求められること」
講 師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 社会福祉学科
教授 中村 美安子 氏

キ 福祉まるごと相談

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉まるごと相談」を実施しました。

(ア) 相談対応延べ件数 402件（新規相談対応120件、継続相談対応282件）

※複合的な課題を抱える世帯からの相談もあるため、1回の相談において対象者属性が複数となる場合があります。

(単位：件)

対象者属性						初回 継続		相談方法				対応内容			
高齢者		障がい者			その他	初回	継続	来所	電話	訪問	その他	相談援助	連絡調整	ケースカンファレンス	その他
認知症	一般	知的	精神	身体											
25	150	58	106	26	93	120	282	60	248	33	61	289	80	2	39

相談内容（初回相談時）

(単位：件)

生活困窮	福祉サービス	家族関係	住環境整備	介護	保健・医療	離職・就労	子育て	年金	財産・相続	認知症関係	生きがい	福祉機器	その他
16	17	9	11	7	6	3	9	1	2	4	5	1	29

(イ) 毎月1回、内部情報交換会を開催しました。

ク 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第178号から第181号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。（自治会を通じて配布）

(イ) 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第178号	令和7年5月9日(金)	厚木市保健福祉センター
第179号	令和7年8月12日(火)	厚木市保健福祉センター
第180号	令和7年11月11日(火)	厚木市保健福祉センター
第181号	令和8年2月10日(火)	厚木市保健福祉センター

ケ 厚木市社会福祉大会

第56回厚木市社会福祉大会（厚木市と共催）

開催日	令和7年10月19日（日）
場 所	厚木市保健福祉センター
被表彰者等	表彰 93の個人・団体 感謝状贈呈 14の個人・団体
参加者	195人

コ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページ及びフェイスブックにより、本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努め、また福祉情報の提供を行いました。
さらに、職員が地域等に出向き、本会事業について話をする「出前講座」を実施しました。

(ア) フェイスブック

投稿数 148件

通算フォロワー数 658人

(イ) 出前講座

内容	回数	対象
社会福祉協議会とは	1回	高校生、大学生、 市内企業社員、 ケアマネージャー、 病院職員、地域住民 等
ボランティアセンターとは	2回	
厚木あんしんセンターの役割について	1回	
成年後見制度について	4回	
厚木市権利擁護支援センターとは	1回	
合計	9回	

サ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 3件 総額 1,400,000円

シ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 57件 総額 4,979,646円

b 物品寄付 11件 使用済み切手、喉トレかるた、絵画 等

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 125,139円

使途の指定 交通遺児支援

b 物品寄付 1件 もいちどペーパー（トイレトペーパー）
10,000ロール

使途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2)住民福祉活動推進事業

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、交付しました。

総 額	16,962,000円
交付金財源 賛助会員会費	5,862,000円
厚木市交付金	11,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

助成金名	助成地区数	助成金額
広報活動助成金	15 地区	240,000円
子育て支援事業助成金	15 地区	460,000円
高齢者ミニデイサービス事業等助成金	15 地区	2,250,000円
きずな交流事業助成金	15 地区	640,000円
見守り活動助成事業	13 地区	650,000円
合 計		4,240,000円

ウ 住民福祉活動推進事業

住民の孤立感の解消を図り、地域住民相互の助け合いや居場所づくりを推進するため、地域住民が行う自主的な活動に対し、助成金を交付しました。

小地域ふれあい活動助成金

75団体 750,000円 (@10,000×75 団体)

エ 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターによる支援

地域福祉コーディネーターとして地区地域福祉推進委員会の活動支援を実施するとともに、地域の個別課題の解決を図るため、地域資源等との調整を行いました。さらに、地域の特性に応じた支援や福祉まると相談を通して地域福祉の推進に努めました。

また、市から生活支援コーディネーターの委嘱を受け、第二層協議体等の地域の会議に参画し、地域包括支援センターや地域住民等と連携しながら地域課題に対する取組を行いました。

(ア) 相談・問合せ対応（内福祉まると相談 402件）	2,156件
(イ) 会議、打合せへの参画	658件
(ウ) 地域事業、研修等への参加	211件
(エ) 市と地域福祉コーディネーターによる情報交換会を開催	6回

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

地域福祉推進委員会相互の研修の場として、研修会を開催しました。
(地域づくり事業講演会との合同開催)

開催日	令和8年3月19日(木)
場 所	厚木市保健福祉センター6階 ホール
内 容	テーマ 「経験者が語るひきこもり講演会～解決ではなく共に在ること～」
講 師	一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子 氏
参加者	地区地域福祉推進委員会委員 48人

カ 新たな居場所づくりへの支援

コーディネーターが地域へ積極的に出向き、社会資源でもある居場所の把握に努めました。また、その情報を地域で共有・発信することにより、住民同士のつながりの中で居場所の情報が広がるように支援しました。

さらに、新たな居場所の立ち上げを希望する方へ支援を実施し、居場所づくりの展開につなげることができました。

キ 重層的支援体制整備事業における参加支援事業と地域づくり事業

コミュニティデザイン推進員を中心に、支援が届きにくい方へのアプローチや地域資源の把握・活用を、制度や分野の枠を超えて進めました。また、関係機関と連携し、参加の機会の創出を通じて、孤立の予防と支え合いの仕組みづくりに取り組みました。

(ア) 参加支援事業

社会資源の開拓・拡充を図るとともに、支援対象者等へのアプローチや調整を行い、社会参加に向けた多様な仕組みを構築しました。

	開催日・場所	内 容	人 数
1	令和7年4月～令和8年3月 愛名やまゆり園	市内障がい者施設の花壇、菜園を活用。施設入居者や社会参加への支援が必要な方が参加し、花植えや野菜づくりを実施。	参加者 延べ 31人
2	令和7年5月～令和8年3月 厚木市保健福祉センター	社会参加への支援が必要な方が「使用済み切手の整理」の作業を行いながら交流を深める事業を毎週金曜日に実施。	参加者 延べ 156人
3	令和7年5月25日(日) 本厚木駅東口地下道	厚木中町大通り商店街振興組合が実施している「なかちか市」に参加。アンケートやゲームを通じて社協事業について幅広い世代に向けたアプローチを実施し、参加支援につなげる活動を行った。	来場者 約100人
4	令和7年7月24日(木) 8月7日(木) 8月21日(木) あつぎえんぴつの会活動場所	夏休み期間、学習支援団体と高校生ボランティアと協働し、学習サポート事業「ひとやすみ学習室」を開催。	参加者 延べ 6人

	開催日・場所	内 容	人 数
5	令和7年8月20日（水） 厚木市立図書館視聴覚ホール	ボードゲームを通じてコミュニティの輪が広がることをめざして、図書館を活用し、市立図書館との協働開催で「図書館でボードゲーム」を実施。	参加者 36人
6	令和8年2月27日（金） 厚木市保健福祉センター	社会参加への支援が必要な方や障がい者が集い、積み木の色塗りを実施。完成した積み木は、地域福祉推進委員会が実施している地域の子育てサロンに寄贈。	参加者 13人
7	令和8年3月7日（土） 障害者地域活動支援センター レザミ工芸	「図書館でボードゲーム」をきっかけに市立図書館から廃棄CDの提供を受け、地域活動支援センターで対象者がCDの整理から販売までを行う事業を実施し、社会参加の場を提供。	参加者 3人

(イ) 地域づくり事業

多様なニーズや生活課題に対応できるよう、企業や教育等の関係団体と連携し、身近な地域における取組を活性化させ、つながりをつくることに努めました。

	開催日・場所	内 容	人 数
1	令和7年7月26日（土） アミューあつぎ	夏休み期間、ボランティア団体と高校生ボランティアと協働し、市内在住の子育て世帯を対象とした「みんなの夏ひろば」を開催。	来場者 291人
2	令和7年9月6日（土） 厚木中央公園	厚木青年会議所主催「第53回神奈川ブロック大会 厚木大会×あつぎ DREAM フェスタ 2025」で「福祉まるごと相談」の啓発うちわ500枚を配布。 能登半島地震の災害応援派遣のパネル展示、福祉教育体験ブース等を出店。	来場者 約500人
3	令和7年9月～令和8年3月 市内ファミリーマート	株式会社ファミリーマートのフードドライブに関する協力パートナーとなり、毎月市内7店舗を訪問し、回収。支援が必要な世帯や子ども食堂に食品を寄贈。	
4	令和7年12月19日（金） 神奈川県立厚木清南高校	市内の定時制高校の「夜カフェ」に参加。定時制生徒や高校のスクールソーシャルワーカー、教員と交流を図るとともに、ニーズの把握を行った。	参加者 約130人
5	令和8年3月19日（木） 厚木市保健福祉センター	「経験者が語るひきこもり講演会～解決ではなく共に在ること～」をテーマに、ひきこもり当事者による講演会を実施。 【再掲】地域福祉推進委員会連絡会議研修会 合同開催	参加者 78人

	開催日・場所	内 容	人 数
6	令和8年3月20日（金・祝） アミューあつぎ	NPO法人ライラック心の会主催の「福祉フェス in 県央」にブースを出店。 障がいのある方や支援学校の生徒・保護者・教員・地域の方々に向けて福祉サービスの内容を分かりやすく紹介。	来場者 約20人

(3)福祉活動推進事業

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 17人

	開催日・場所	内 容
1	令和7年10月3日（金） 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉外出保障 〈一般課程〉視覚障害者理解と疾病① 〈一般課程〉視覚障害者理解と疾病② 〈一般課程〉視覚障害者（児）の心理 〈一般課程〉視覚障害者（児）福祉の制度とサービス 〈一般課程〉同行援護の制度
2	令和7年10月6日（月） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉同行援護従業者の実際と職業倫理 〈一般課程〉情報提供 〈一般課程〉代筆・代読① 〈一般課程〉代筆・代読② 〈一般課程〉誘導の基本技術②（演習）
3	令和7年10月10日（金） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉誘導の基本技術①（演習） 〈一般課程〉誘導の基本技術②（演習） 〈一般課程〉誘導の応用技術①（演習）
4	令和7年10月17日（金） 厚木市保健福祉センター、 神奈川中央交通東（株）厚木営業所、 小田急線本厚木駅、海老名駅、 相鉄線海老名駅、イオン厚木店	〈一般課程〉誘導の基本技術①（演習） 〈一般課程〉交通機関の利用（演習） 〈一般課程〉誘導の応用技術①（演習） 〈一般課程〉誘導の応用技術②（演習）
5	令和7年10月20日（月） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉誘導の応用技術①（演習） 〈応用課程〉様々な利用者への対応 〈応用課程〉サービス提供者の業務 〈応用課程〉個別支援計画と他機関との連携 〈応用課程〉業務上のリスクマネジメント 〈応用課程〉従業者研修の実施 〈応用課程〉同行援護の実務上の留意点 ・閉講式 修了証明書授与

※講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木孝幸 氏、福喜多恭子 氏
厚木市社協居宅介護事業所 小池美智代 氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体（８団体）	730,000円
(イ) 一般会員組織への助成（３団体）	690,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。

貸出件数 194件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設に対し、情操教育に関する教材等の整備のための助成を行いました。

47施設 総額 908,299円

オ 一般会員研修支援事業

12団体 総額 120,000円

カ 障害者週間啓発事業

「障害者週間」の紹介及び「ともに生きるかながわ憲章」の理念を広く社会に浸透させるため、題字「ともに生きる」と本会公益事業の障がい者スタッフの絵をクリアファイルに印刷し、市民に配布しました。

(4)共同募金配分金事業

ア 料理教室

シニア世代の参加者同士が親睦を深めながら食生活のあり方を学ぶ機会とし、参加者が自宅で調理ができる力を身に付け、健康の増進を図ることを目的として開催しました。

開催日	場所	内容	参加者
令和7年8月8日（金）	アミューあつぎ	調理実習	10人
令和7年9月12日（金）			11人
令和7年11月14日（金）			10人
令和8年2月20日（金）			11人

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター事業所に対し、運営費として助成を行いました。

5施設 総額550,000円

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

中学生を対象としてボランティア精神の育成並びに福祉教育の一助として実施し、参加者から募集した感想文の最優秀作品を「社協あつぎ（181号）」に掲載しました。

施設名	実施日	参加者
第二森の里	令和7年8月1日（金）、8月12日（火）	5人
メイサムホール	令和7年9月18日（木）、19日（金）	6人
合 計		11人

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に助成を行いました。

障害者就労継続支援B型事業所 13事業所

障害者地域活動支援センター 5事業所

総額 900,000円

(5) ボランティアセンター活動事業

ア ボランティアセンターの管理運営

(ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対 応 内 訳						件数
		情報提供指導	連絡調整	備品貸出	保険説明	保険処理	その他	
活動相談	ボランティアの種類、方法	45	5	0	0	0	0	50
	団体の活動内容、参加方法	7	19	0	0	0	1	27
	実習、体験相談	2	5	0	0	0	0	7
	活動組織の立ち上げ支援	3	1	0	0	0	0	4
派遣相談	派遣相談	32	32	0	0	0	1	65
	掲出依頼	9	0	0	0	0	0	9
保険相談	保険の種類、加入方法	8	0	0	8	0	0	16
	加入手続き、事故報告書手続き	5	1	0	5	1	1	13
活動指導	団体からの活動相談、指導	16	5	0	0	0	1	22
	個人からの活動相談、指導	3	0	0	0	0	1	4
その他	団体への活動依頼方法	3	3	0	0	0	0	6
	収集ボランティア(送付先等)	5	0	0	0	0	0	5
	各種助成金	5	0	0	0	0	0	5
	備品貸出相談	5	1	3	0	0	0	9
	その他の問合せ	55	19	0	0	1	2	77
計		203	91	3	13	2	7	319

(イ) ポスター等掲示

ポスター 45枚

チラシ・パンフレット 168部

(ウ) ボランティア活動保険

加入手続き 202件
事故処理 6件

(エ) ボランティアセンター利用状況

部 屋 名	利用者数 (延べ人数)
研修室	13,723人
作業室	4,473人
点字作成室	3,657人
録音室	2,228人
対面朗読室	2,003人
合 計	26,084人

(オ) ボランティアセンター登録 (令和8年3月31日現在)

団体 68団体 3,775人
個人 33人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

開 催 日	令和7年7月8日 (火)
場 所	厚木市保健福祉センター
出 席 者	9人
協議事項	(1)委員長及び副委員長の選出について (2)令和6年度ボランティアセンター事業報告について (3)令和7年度ボランティアセンター事業計画について (4)その他

イ ボランティア講座の開催

(ア) 傾聴ボランティア養成講座

全てのボランティア活動の基本とも言える「傾聴」の心構えや基本を学び、今後のボランティア活動に活かすとともにボランティアの養成を目的として開催しました。

開 催 日	講 義 令和7年11月7日、14日、21日、28日、 12月19日 全て金曜日 施設実習 令和7年12月1日～18日の間で1日
場 所	厚木市保健福祉センター及び市内福祉施設
講 師	NPO法人パートナーシップアンドリスニングアソシエーション (P・L・A) 専任講師 後庵正治 氏、小俣眞佐美 氏
参 加 者	20人
内 容	(1)傾聴の姿勢やスキルに関する講義 (2)ロールプレイ (3)市内福祉施設での傾聴実習

(イ) ボランティアスタートアップ講座

ボランティアに関心がある方や、今後活動をしたいと考えている方を対象に、ボランティアの基本を学ぶことを目的として開催しました。

開 催 日	令和8年3月1日（日）
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	本会職員
参 加 者	12人
内 容	(1)ボランティアについて（講義） (2)ボランティアセンター登録団体活動紹介 (3)個人及びグループワーク

(ウ) 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で講座を開催しました。

1	共催地区	依知北地区地域福祉推進委員会
	開 催 日	令和8年2月7日（土）、14日（土）
	場 所	依知北公民館
	講 師	講義：本会職員 体験：バルーンパフォーマーMIYUKI 氏
	参 加 者	1日目：16人 2日目：15人
	内 容	(1)子どもと関わる地域の活動について（講義） (2)バルーンアート教室 (3)依知北地区の子どもに関する活動紹介
2	共催地区	緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会
	開 催 日	令和8年3月7日（土）
	場 所	緑ヶ丘公民館
	講 師	神奈川大学 非常勤講師 妻鹿ふみ子 氏
	参 加 者	17人
	内 容	(1)参加がつなぐ 人と人、人と地域 ～つながりづくりのボランティア～ (2)緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会活動紹介

(エ) メンタルヘルスサポーター養成講座

精神障がいと精神保健福祉への理解を深め、精神障がいのある方と地域を繋ぐボランティアを養成し、住民同士の支え合いや孤立を防ぐ地域づくりに繋げることを目的として開催しました。

開催日	講義 令和8年2月6日、13日、20日、3月6日 全て金曜日 施設実習 令和8年2月24日～27日のいずれか1日
場所	厚木市保健福祉センター 障害者地域活動支援センター及び市内のデイケア
講師	学校法人横浜 YMCA YMCA 健康福祉専門学校 精神保健福祉学科 専任講師 栗田陽子 氏
参加者	19人
内容	(1)精神疾患や精神障がいの基礎知識に関する講義 (2)ゲストスピーチ及び交流会 (3)地域活動支援センター及びデイケアでの実習

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。
(点字体験及び高齢者擬似体験については物品貸出のみ)

福祉教育実施学校数 24校 (小学校18校、中学校6校)

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講児童・生徒数
手話体験	15校	15回	1,346人
点字体験	3校	3回	234人
誘導体験	12校	12回	891人
車いす体験	16校	16回	1,220人
高齢者擬似体験	7校	7回	613人
認知症サポート	3校	3回	235人
車いすバスケットボール体験	4校	4回	294人
障がい理解促進	1校	1回	43人
合 計		61回	4,876人

(イ) 高校生用福祉教育推進事業

高齢者、障がい者に対する理解と関心を深め「見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」の推進を図るため、市内高等学校に通う生徒を対象に講師の派遣及び物品の貸出を行いました。

福祉教育実施学校数 1校

講座名	実施回数	延べ受講生徒数
手話体験	2回	267人
誘導体験	1回	12人
車いす体験	1回	12人
高齢者擬似体験	1回	10人
車いすバスケットボール体験	1回	259人
認知症サポート	1回	10人
合 計	7回	570人

(ウ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

高齢者、障がい者に対する理解と関心を深め見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るため、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数 3団体

講座名	実施回数	受講者数
高齢者擬似体験	3回	82人
合 計	3回	82人

エ ボランティア団体等への助成

(ア) ボランティア団体活動助成金

24団体 交付総額 514,000円

(イ) 障がい者支援団体助成金

4団体 交付総額 510,000円

オ ボランティア情報の提供

ボランティア募集情報パンフレットやホームページ、ボランティアセンター掲示板、厚木市社会福祉協議会公式 Facebook、LINE等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

(ア) 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座

災害ボランティアセンターの運営に係るスタッフの養成を目的として開催しました。参加者のうち、5人が運営スタッフとして登録しました。

開催日	令和7年6月28日（土）
場所	アミューあつぎ
講師	公益社団法人ピースボート災害支援センター 関根正孝 氏
参加者	17人
内容	(1)災害ボランティアセンターの役割と被災者のニーズ把握について（講義） (2)被災者ニーズを把握する方法を考える（グループワーク） (3)厚木市災害ボランティアセンターについて

(イ) 災害ボランティアセンター運営スタッフ向け研修・交流会

厚木市の災害時における災害ボランティアセンター運営及びボランティアの支援体制について運営スタッフ等の意見を聴取し、災害ボランティアセンターの強化を図るとともに、災害時の連携強化を目的として開催しました。

開催日	令和7年11月29日（土）
場所	アミューあつぎ
講師	社会福祉法人秦野市社会福祉協議会 事務局次長 佐藤美知子 氏
参加者	12人
内容	(1)秦野市災害ボランティアセンターの運営について (2)交流会

(ウ) 防災・減災講座

地域の防災・減災意識を高めるとともに、地域での顔の見える関係づくりや平時から災害に備えた取り組みを進めることを目的に開催しました。

開催日	令和8年2月11日（水・祝）
場所	アミューあつぎ
講師	公益社団法人ピースボート災害支援センター 関根正孝 氏
参加者	23人
内容	(1)被災者を取り巻く課題、被災者を支える支援、自助・共助・公助の取り組み等（講義） (2)災害時に必要な支援と平時の地域づくりについて（グループワーク）

(エ) 災害ボランティアセンターに関する打合せ（厚木市、厚木青年会議所と連携）

開催日	令和7年6月6日（金）、7月1日（火）、8月8日（金）、8月19日（火）
場所	厚木市保健福祉センター、厚木市役所
出席者	延べ17人

- (オ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練（厚木市、厚木青年会議所と連携）

開催日	令和7年8月31日（日）
場 所	厚木市保健福祉センター、厚木市役所
出席者	65人

- (カ) 協定書に基づく3者（青年会議所、厚木市、社協）情報交換会

厚木市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂等について、情報交換を行いました。

開催日	令和7年10月14日（火）
場 所	厚木市保健福祉センター
出席者	7人

キ ボランティア団体との共催による講座の開催

- (ア) 夏休み親子手話教室

親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和7年7月23日（水）、24日（木）、25日（金）
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	5組11人

- (イ) 手話入門講座

手話を学び、聴覚に障がいがある方への理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和8年2月5日～3月5日 すべて木曜日
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	17人

- (ウ) 音声訳ボランティア養成講座

視覚に障がいのある方へ音声による情報提供を行うために必要な、音声訳の基礎知識と技術を学ぶことを目的に開催しました。

開催日	説明会 令和7年9月26日（金） 講座 令和7年10月3日～令和8年3月13日 すべて金曜日
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	厚木市録音赤十字奉仕団
参加者	4人

(エ) パソコンサポートボランティア養成講座

視覚に障がいのある方のパソコン操作をサポートするボランティアを養成することを目的に開催しました。

開催日	令和8年2月17日（火）、2月24日（火）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木障害者PCサポートクラブ
参加者	1人

(オ) 福祉教育推進ボランティア養成講座

市内小学校等で車いす操作や高齢者疑似体験を指導する講師を養成することを目的に開催しました。

開催日	令和8年2月3日（火）、2月4日（水）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市福祉教育推進ボランティアあおぞら会
参加者	2人

(カ) 視覚障がい者の誘導法講座

視覚に障がいのある方の外出を支援するボランティアの養成を図ることを目的に開催しました。

開催日	令和8年1月31日～2月28日 すべて土曜日
場所	厚木市保健福祉センター、アミューあつぎ
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	4人

(キ) はじめての誘導體験教室

視覚に障がいのある方の外出を支援する誘導法の基本を体験しました。

開催日	令和7年10月11日（土）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	9人

(ク) 難聴者/聞こえにくい方のための「第6回やさしい手話講座」

耳の聞こえにくい方がご家族とスムーズなコミュニケーションが取れるよう、簡単な手話を学ぶことを目的に開催しました。

開催日	令和7年11月5日～12月3日 毎週水曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	あつぎ難聴者手話の会「虹」
参加者	13人

ク 市内企業等への協力事業

(ア) スタディドライブ

生活協同組合ユーコープ西湘1エリア会が実施するスタディドライブ（未使用文房具を回収して品物を必要とする団体等に寄付する活動）に協力し、登録ボランティア団体や市内福祉施設に約1,000点の文房具をお渡ししました。

開催日	回収期間 令和7年10月1日～10月31日 受渡し日 令和7年11月26日（水）
場所	回収場所 コープ厚木戸室店、鳶尾店、愛甲店他市外2店舗 受渡し場所 コープ厚木戸室店
受渡し先	保育園 2施設、高齢者施設 1施設 障害者地域活動支援センター 1施設、就労移行 2施設 食料支援ボランティア団体 1団体

(6) 資金貸付事業

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	申込件数	申込額
緊急小口資金	4件	337,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	100,000円
教育支援資金	3件	2,487,000円
合計	8件	2,924,000円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

イ 緊急援護資金貸付事業

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

貸付金額	貸付件数	貸付額
10,000円未満	8件	46,000円
10,000円以上 20,000円未満	15件	210,000円
20,000円以上 30,000円未満	34件	821,000円
30,000円	39件	1,170,000円
合計	96件	2,247,000円

ウ 行旅人旅費貸付事業

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

(7)在宅援護等事業

ア 移送サービス事業(福祉有償運送)

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象にひばり号を運行し、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用 用途	通院	69	68	76	74	58	63	56	52	62	55	50	48	731
	通院外	18	17	14	31	20	34	32	18	26	23	38	33	304
利用先	市内	81	74	81	92	73	89	83	66	83	72	86	76	956
	市外	6	11	9	13	5	8	5	4	5	6	2	5	79
利用件数		87	85	90	105	78	97	88	70	88	78	88	81	1035

イ あつぎしあわせライフサービス事業(有料在宅援護サービス)

日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

(ア) 利用実績

(単位：人、件、時間)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	件数	3	4	2	3	4	3	3	2	3	2	1	0	30
	時間数	6	8	4	6	8	6	6	4	6	4	2	0	60

(イ) 利用会員登録者数 4人

(ウ) 協力会員登録者数 13人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区 分	件 数	支 給 額	備 考
全 焼	5 件	140,000 円	@20,000 円×1 @30,000 円×4
死 亡	4 件	120,000 円	@30,000 円×4
合 計	9 件	260,000 円	

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業

ア 成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度の周知啓発

- ・厚木市権利擁護支援センターあゆさぼのパンフレットを、関係機関へ送付
- ・ノベルティを作成、配布
- ・タウンニュース等に関連記事の掲載
- ・本会ホームページやフェイスブックで随時情報発信

(イ) 職員が地域に出向き、出前講座を実施しました。

	開催日等		参加者
1	開催日	令和7年6月12日（木）	24人
	実施先	相川地区民生委員児童委員協議会の地区研修会	
	内 容	成年後見制度とあゆさぼについて	
2	開催日	令和7年8月19日（火）	21人
	実施先	南毛利南民生委員児童委員協議会の地区研修会	
	内 容	成年後見制度について、市民後見人の現状について	
3	開催日	令和7年10月7日（火）	12人
	実施先	みずほ銀行	
	内 容	成年後見制度、あゆさぼについて	
4	開催日	令和7年10月28日（火）	28人
	実施先	相州メンタルクリニック	
	内 容	成年後見制度、相続、遺言	

(ウ) 成年後見制度普及講座

啓発講座成年後見制度や関連する制度についての知識を深めるため、実施しました。

事業所向け	開催日・場所	令和7年6月9日（月）アミューあつぎ
	内 容	「知っておきたい成年後見制度 ～成年後見制度の基礎知識、適切な利用の繋げ方～」
	講 師	弁護士 渡邊茉樹 氏
	参加者	29人
市民向け	開催日・場所	令和7年8月5日（火）アミューあつぎ
	内 容	成年後見制度と終活について
	講 師	司法書士 仲井雅光 氏
	参加者	17人

(エ) 成年後見制度地域連携講演会

市民及び様々なニーズの窓口となる福祉関係者、医療関係者等を対象とし、制度をより身近に感じられるように周知を図りました。

開催日・場所	令和8年3月12日（木）厚木商工会議所
内 容	成年後見制度の活用と最新の動向 ～自分らしく暮らすために制度とどう向き合うか～
講 師	特定非営利活動法人はばたきソーシャルワークス 代表理事 山口翔多 氏
参加者	86人

(オ) 多職種連携事例検討研修会

多職種の顔つなぎと連携を目的に、後見活動を行っている専門職と厚木市内福祉医療関係者を対象とし、事例検討を行いました。

開催日・場所	令和7年8月28日（木）アミューあつぎ
内 容	事例検討（グループワーク）
講 師	社会福祉士 山中啓子 氏
参加者	33人 ※厚木市で後見活動を行っている専門職及び 厚木市内の事業所に勤務する福祉医療関係者

(カ) 本人を中心とした「チーム支援」の仕組みづくり

関係機関と連携し本人の状況に応じて福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる“チーム支援”を行いました。

チーム支援対応件数：53件

(キ) 候補者調整会議

後見人等候補者を調整する会議を開催し、本人にとってふさわしい後見人等候補のマッチングに努めました。

1	開催日・場所	令和7年11月27日（木）アミューあつぎ
	協議事項	案 件(1) 市長申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
2	開催日・場所	令和8年3月5日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	案 件(1) 市民後見人候補者名簿登録（新規）について 案 件(2) 親族申立て候補者推薦案件について 報 告(1) 社協法人後見の辞任申し立て案件について (市民後見人の単独受任)

(ク) 地域相談会

相談につながるハードルを低くするとともに、支援を必要とする方を早期に発見し、情報や支援を届けていく場として、地域に出向いた相談会を実施しました。

開催日・場所	令和7年11月9日（日）caféこねくと
対象者	吾妻団地に住んでいる方
内 容	(1)お金の管理にまつわる心配ごと (2)頼れる親族がいないなど身寄りがなく、入院や亡くなった後の心配ごと (3)障がいのあるお子さんの今後のこと
相談員	司法書士、行政書士、厚木地域包括支援センター職員、障がい者基幹相談支援センター職員、障がい者相談支援センター職員
参加者	2人

イ 地域連携ネットワークにおける中核機関の運営

(ア) 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

権利擁護における地域連携ネットワークの中核機関として、協議会の事務局を担い、各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携、地域課題についての情報交換、検討の場として協議会を開催しました。

1	開催日・場所	令和7年5月14日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案 件(1) 成年後見制度に関する情報共有 報 告(1) 令和6年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について 報 告(2) 令和6年度厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの取組状況について その他(1) 成年後見制度普及啓発講座について その他(2) 令和7年度多職種連携事例検討研修会について その他(3) 次回以降の会議日程について
2	開催日・場所	令和7年10月15日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案 件(1) 「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」についての概要説明 案 件(2) 身寄りがいない方の入院時、入所時に関する情報共有 案 件(3) 成年後見制度に関する情報共有 その他(1) 地域相談会について その他(2) 次回の会議日程について
3	開催日・場所	令和8年2月18日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案 件(1) 「令和7年度成年後見制度利用促進連絡協議会（神奈川県社協主催）」の報告と意見交換 案 件(2) 「吾妻団地 地域相談会」について 案 件(3) 「法人後見 受任体制の更なる充実」について その他(1) 厚木市より情報提供 その他(2) 次回の会議日程について

(イ) 「チーム支援」における専門職との連携

訪問による相談やチーム支援にアドバイザーを派遣しました。

アドバイザー派遣件数 8件（社会福祉士7件、行政書士1件）

(ウ) 成年後見制度関係等相談対応延べ件数 2, 128件

(新規相談対応219件、継続相談対応1,909件)

(単位：件)

区分	高齢者		障がい者			その他	合計
	一般	認知症	精神	知的	身体		
問合せ	28	46	22	26	6	6	134
成年後見制度（法定後見） の具体的な相談	45	195	46	62	17	3	368
申立について	16	129	34	91	4	7	281
任意後見制度・終活相談	74	4	3	0	7	3	91
後見人等からの相談	2	93	4	36	0	1	136
チーム支援会議等の 開催・参加	5	12	13	19	4	0	53
連絡・調整	130	384	231	187	31	4	967
その他	26	33	9	27	0	3	98
合 計	326	896	362	448	69	27	2128

(エ) 専門職相談

実際に成年後見人等の業務を行っている専門職に制度の利用方法や後見人等の実務に関することなどを相談することができる専門職相談を実施しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 相談件数 7件

(b) 司法書士による成年後見相談 相談件数 14件

ウ 成年後見制度の担い手の確保

(ア) 市民後見人養成研修（基礎研修、実践研修、実務研修）

成年後見制度の担い手として、本人の意思を把握しながら地域に密着した活動を行うことができる市民後見人の養成研修を実施し、新たな市民後見人候補者6人が登録されました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和7年7月18日（金） ～8月19日（火） ※オンライン視聴	基礎研修Ⅰ（全13講） 「成年後見制度総論・意思決定支援・ 権利擁護・後見人の倫理」等	12人
令和7年9月9日（火） 神奈川県社会福祉センター	基礎研修Ⅱ（第14講） 「意思決定支援」	7人
令和7年9月30日（火） 神奈川県社会福祉センター	基礎研修審査会	
令和7年10月17日（金） アミューあつぎ	実践研修① 市民後見人の実際（中核機関支援）・ 介護保険制度・高齢者施策・高齢者虐待 防止法・障がい者施策・障がい者虐待 防止法・年金制度・健康保険制度	6人

開催日・場所	内容	参加者数
令和7年10月24日（金） 厚木市保健福祉センター	実践研修② 生活保護制度・地域福祉の取組状況・ 社会資源・地域福祉のネットワークづ くり・税務申告制度・対人援助の基礎	6人
令和7年10月31日（金） 厚木市保健福祉センター	実践研修③ 申立て手続き書類作成・後見計画 収支予定表の作成・定期報告書の作成 後見事務終了の手続き・死後事務	5人
令和7年11月7日（金） 厚木市保健福祉センター 社会福祉法人敬和会	実践研修④ 事例報告と検討・施設実習	6人
令和7年11月14日（金） 厚木市保健福祉センター 社会福祉法人かながわ共同会	実践研修⑤ 事例報告と検討・施設実習	4人
令和7年11月18日（火） アミューあつぎ	実践研修⑥ 日常生活自立支援事業・厚木市利用支 援事業・福祉総合相談・地域福祉計画・ 地域包括ケアの推進・市民後見人の実 際（実践報告・意見交換）	6人
令和7年11月28日（金） 厚木市保健福祉センター	修了試験・閉講式	6人
令和7年12月10日（水） 厚木市保健福祉センター	実践研修審査会	
令和7年12月22日（月） 厚木市保健福祉センター	実務研修 オリエンテーション	6人
令和8年1月7日（水） ～2月25日（水） 厚木市保健福祉センター他	実務研修（1人2回）	6人
令和8年3月5日（木） アミューあつぎ	候補者調整会議にて、市民後見人候補者名簿登録 （新規）について審査	
令和8年3月24日（火） アミューあつぎ	・修了式 ・市民後見人意見交換会	修了式 6人 意見交換会 15人 （新規登録 者6人、既 登録者9人）

※講師 厚木市役所職員、弁護士 佐野美鶴 氏、司法書士 中野智子 氏
社会福祉士 橋本直人 氏、税理士 大口保則 氏、行政書士 飯田沙耶 氏
社会福祉法人敬和会職員、社会福祉法人かながわ共同会職員、本会職員

(イ) 市民後見人登録者資質向上研修

市民後見人登録者の知識習得及び資質向上を目的として実施しました。

1	開催日・場所	令和7年7月4日（金）アミューあつぎ
	内 容	定期報告、新様式の書き方
	講 師	司法書士 古根村博和 氏、
	参加者	12人
2	開催日・場所	令和7年11月13日（木）アミューあつぎ
	内 容	認知症や障がいのある方の特性や接遇の方法
	講 師	社会福祉士 高松真由美 氏、厚木市役所職員
	参加者	7人
3	開催日・場所	令和8年3月24日（火）アミューあつぎ
	内 容	市民後見人意見交換会 (1)市民後見人の受任状況について (2)市民後見人からの事例報告 (3)意見交換（グループワーク）
	参加者	15人

(ウ) 市民後見人小グループミーティング

市民後見人登録者の活動の支援と推進を目的に、少人数で意見交換が行える場を設け、それぞれの経験を共有する場として開催しました。

1	開催日・場所	令和7年7月8日（火）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者	5人
2	開催日・場所	令和7年8月18日（月）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者	3人
3	開催日・場所	令和7年9月10日（水）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者	5人

※アドバイザー 社会福祉士 高松真由美 氏

(エ) 市民後見人登録者の待機期間の活動について

市民後見人登録者が成年後見人等を受任するまでの待機期間の活動として、2人の市民後見人登録者が本会の非常勤職員として日常生活自立支援事業の生活支援員業務を行いました。

(オ) 市民後見人の選任・活動について

7人の市民後見人が本会との複数受任で後見等の支援活動を行ないました。また、2人の市民後見人が単独受任で後見等の支援活動を行ったため、活動のフォローアップを行いました。

(カ) 親族後見人勉強会

後見人支援の一環として、家庭裁判所への報告や記録の管理の方法など、実際に後見人を受任している親族が学ぶことができるような内容の勉強会を開催しました。

開催日・場所	令和8年2月4日（水）厚木市保健福祉センター
内 容	後見業務と後見人の交代について
講 師	行政書士 千代川浩子 氏
参加者	17人

(キ) 法人による後見活動の普及啓発

- ・法人後見に関する相談を受け、法人後見活動の普及啓発を行いました。
- ・市内に施設を有する社会福祉法人及びNPO法人（52法人）に対して、法人後見に関するアンケート調査を行いました。
- ・法人後見受任に関するチラシを作成し、広報啓発を行いました。

エ 法人後見事業

本会が成年後見人等となり、法人後見を推進しました。

延べ支援件数 854件

(フ) 受任件数(令和8年3月31日現在) 8件

後見	保佐	補助
2件	5件	1件

(イ) 受任体制充実のための内部カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和7年4月24日（木） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
2	令和7年5月28日（水） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
3	令和7年6月26日（木） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
4	令和7年7月23日（水） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
5	令和7年8月25日（月） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
6	令和7年9月24日（水） 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 新規案件受任に向けての受任体制について (3)その他

	開催日・場所	協議事項等
7	令和7年10月29日(水) 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)市民後見人の単独受任の意向確認について (3)法人後見事業 事務処理について (4)その他
8	令和7年12月18日(木) 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)社会福祉士から市民後見人へリレーする方法について (3)市民後見人の受任要件について (4)専門職から市民後見人へリレーする際の流れと申立費用について (5)被保佐人の受任体制について (6)法人後見担当者現任研修について (7)その他
9	令和8年1月19日(月) 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)市民後見人の受任要件について (3)監督人について (4)被保佐人の受任体制について (5)新規ケースについて (6)その他
10	令和8年2月26日(木) 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人登録更新について (4)その他
11	令和8年3月23日(月) 厚木市保健福祉センター	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 次年度の担当と緊急連絡先について (3)その他

オ 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

(ア) 高齢者及び障がい者の虐待等、権利侵害に関する相談・通報を受付し、関係機関の連携を図りました。また、本会広報紙やホームページで市民等に周知、啓発を行いました。

虐待相談受付件数 91件

(単位:件)

区分	高齢者	障がい者	合計
虐待通報・届出受理	12	14	26
虐待相談・連絡調整	25	40	65

(イ) 虐待防止講演会

虐待防止の啓発を目的に開催しました。

開催日・場所	令和8年1月28日(水) アミューあつぎ
内 容	「その怒り大丈夫?～虐待を防ぐアンガーマネジメント～」
講 師	社会福祉士 川崎裕彰 氏
参加者	61人

カ 終活相談

高齢者が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 33件

(2)日常生活自立支援事業

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

延べ支援件数 1, 8 4 4 件

ア 新規契約件数

福祉サービス利用援助契約 5 件 (高齢者 3 件、精神障がい者 2 件)

イ 終了件数

福祉サービス利用援助契約 4 件 (高齢者 4 件)

ウ 利用契約件数 (令和8年3月31日現在)

福祉サービス利用援助契約 3 9 件

(高齢者 1 0 件、知的障がい者 3 件、精神障がい者 2 2 件、身体障がい者 4 件)

書類等預かりサービス利用契約 2 件 (知的障がい者 1 件、精神障がい者 1 件)

エ 契約や支援計画変更等に向けた局内カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和 7 年 4 月 2 5 日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)終了ケースの報告について (3)契約中のケースの相談・報告 (4)その他
2	令和 7 年 5 月 3 0 日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)契約中のケースの相談・報告 (3)その他
3	令和 7 年 6 月 3 0 日 (月) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)新規ケースについて (2 件) (3)利用料決定のための所得確認状況について
4	令和 7 年 7 月 2 5 日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)支援計画の変更について (1 件) (3)モニタリングの実施について (4)その他
5	令和 7 年 8 月 2 5 日 (月) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)巡回調査後の対応について (3)その他
6	令和 7 年 9 月 2 9 日 (月) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)モニタリング実施による支援計画の見直しについて (3)その他
7	令和 7 年 1 0 月 3 1 日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)市民後見人養成研修 (実務研修) について (3)支援計画の変更について (1 件) (4)その他
8	令和 7 年 1 1 月 2 8 日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)契約ケースの現状について (3)市民後見人養成研修 (実務研修) について (4)その他

	開催日・場所	協議事項等
9	令和7年12月15日(月) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)契約ケースの現状について (3)その他
10	令和8年1月23日(金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)新規契約について(1件) (3)モニタリングの実施について (4)その他
11	令和8年2月13日(金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機状況について (2)新規契約について(1件) (3)その他
12	令和8年3月27日(金) 厚木市保健福祉センター	(1)待機状況について (2)次年度の支援計画見直しについて (3)その他

3 居宅介護事業

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等(令和8年3月31日現在)

(ア) 利用契約者数(視覚障がい者) 25人

(イ) 従業者(ヘルパー) 29人

イ サービス提供実績

(ア) 居宅介護事業

(単位：人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	件数	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	時間数	10	7.25	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0	24.75

(イ) 同行援護事業

(単位：人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
同行援護	利用者数	19	20	21	21	19	19	21	19	19	19	18	234
	件数	104	100	104	98	96	101	94	98	82	85	89	1152
	時間数	524.5	518	584	529	478.5	524.5	497.5	548	465.5	457	491	6169.5

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

支援技術のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的に、研修会を開催しました。

開催日・場所	令和8年1月23日（金）厚木市保健福祉センター
内 容	“クイズ、支援中の災害発生！！その時どう動く？” “基本に戻って”
講 師	NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会 神奈川県視覚障害者情報センター神奈川ライトハウス 福喜多恭子 氏

エ 虐待防止委員会及び感染症対策委員会

開催日 令和8年2月2日（月）

内 容 ・虐待防止のための従業者研修について
・災害時の対応について

4 喫茶・売店事業

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営
年間238日営業 延べ利用者 2,982人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営
年間238日営業 延べ利用者 1,600人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（4台）

5 自動販売機設置事業

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計34台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台
厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台